

広報

No.154



昭和61年4月15日

発行・編集 国見町企画課

※※※※※  
おもな内容  
※※※※※

昭和61年度予算決まる.....	2～4
新しい献血制度.....	5
助役・収入役・教育長が決まる...	6～7
新団長に林元治さん.....	8
ふるさとの文化財.....	9
おしらせ.....	10～11
公民館だより.....	12～13
わだい.....	14

'86

4月

すまいとくにみ

小雨にけむる観月台公園と大杉



# 24億3,200万円

## 昭和61年度一般会計予算

昭和六十一年度の町予算が、去る三月十三日、町議会で議決されました。

一般会計の予算総額は二十四億三千二百万円、前年度当初予算と比べると、八千七百万円の増、率にして三・七%の増となりました。

この中で、今年度も昨年度に続き、県北中学校の改築が重点事業として挙げられます。

### 歳入

歳入の四五・二%を占める地方交付税は、前年度当初予算を一四・六%上まわりました。

県支出金は、七一・五%の減となりましたが、これは、下水道整備費を、公共下水道特別会計として新設したことによる営農対策補助金の減によるものと、林道補助金組替えによる減が主な要因といえます。

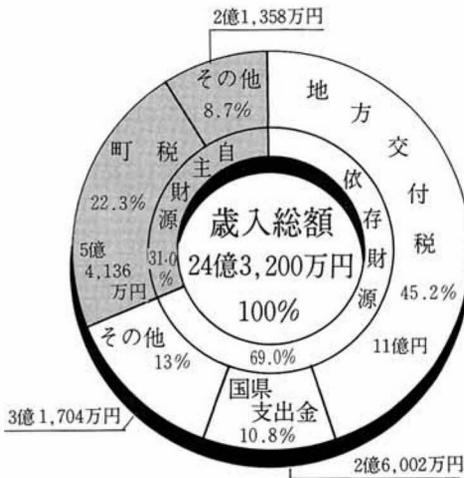
町税収入は、歳入総額の二二・三%を占め、前年度当初予算と比べ五・八%の増となりました。これは、給与所得、固定資産税の伸びによるものです。

自主財源は三一%

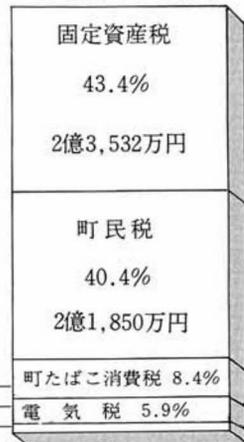
歳入予算を自主財源（町が収入額を見積り、賦課徴収するなど、自主的に確保できる収入）と国県等依存財源（国や県などから定められた額を交付された

り、割当てられる収入）とに分

けると、自主財源は、構成比で前年度より一・四%低い三二%となっています。

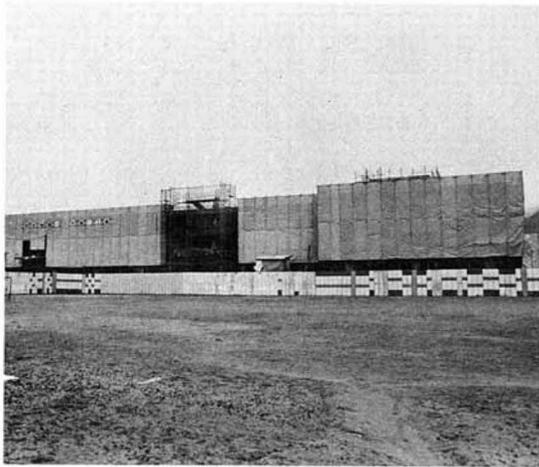


### 町税の内訳



項目	負担額
固定資産税	一世帯当たり 74,254円
個人町民税	1人当たり 15,790円

※昭和61年4月1日の世帯数および人口で、割りだしたものです。



▲改築が進む県北中学校

# 歳出

目的別にみて、構成比の高いものから教育費、衛生費、総務費、土木費、公債費、民生費、農林水産業費の順となつてい

ます。前年度当初予算と比較して、伸び率の高いものは、教育費が一六・二%増、これは、県北中学校改築事業費や藤田幼稚園運動場などの敷地購入費の増で、

次いで衛生費が、公立藤田総合病院負担金と掛上川ダム建設に伴う広域事業負担金の増、住民健康管理充実を図るための増で一五・四%の伸びとなつてい

ます。減額となつたものは、土木費が下水道費の特別会計設置により二三・九%の減、また、民生費一一・二%、商工費一〇・八%とそれぞれ減額となりました。費目ごとの主なものを挙げま

## 民生費

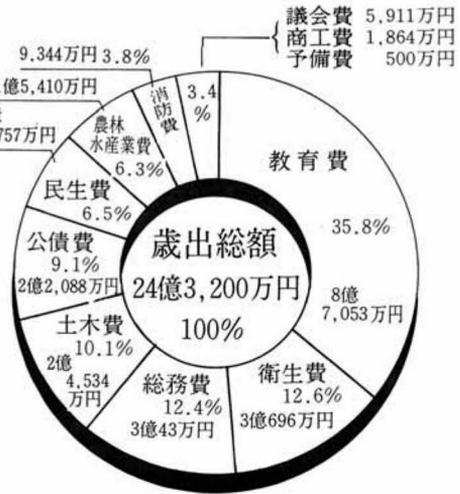


- ▶ 保育事業 6,610万円
- ▶ 児童手当交付金 2,260万円
- ▶ 重度心身障害者医療扶助 650万円
- ▶ 長寿を祝う事業（敬老会、敬老祝金） 328万円
- ▶ 老人家庭奉仕員設置事業 327万円
- ▶ 老人クラブ活動助成交付金 101万円

## 教育費



- ▶ 県北中学校改築事業 5億2,932万円
- ▶ 学校保健対策費 4,818万円
- ▶ 幼稚園教育 3,268万円
- ▶ 体育施設の整備、維持管理費 1,587万円
- ▶ 公民館活動 384万円



## 総務費



- ▶ 選挙費 参議院議員選挙費 296万円
- ▶ 県議会議員選挙費 57万円
- ▶ 地域開発計画の調査研究 292万円
- ▶ 広報く に み発行費 181万円
- ▶ 部落集会所新築補助 150万円

## 土木費



▶町道整備費	9,481万円
▶道路橋梁維持管理費	3,618万円
▶河川整備費	1,063万円
▶公共下水道特別会計繰出金	5,767万円

## 衛生費



▶老人保健対策費	2,295万円
▶各種検診事業	1,301万円
▶各種予防接種	279万円
▶公立藤田総合病院負担金	1億7,535万円

## 公債費



▶町債元利償還金	2億2,088万円
----------	-----------

## 商工費



▶中小企業振興預託金	600万円
▶町商工会運営助成	400万円
▶商工会館建設助成	250万円

## 農林水産業費



▶林道の整備事業	1,875万円
▶種子センター整備事業	1,345万円
▶伊達地域営農団地農道整備事業	596万円
▶水田利用再編事業	311万円
▶町営牧野草地改良事業	300万円

## 消防費



▶伊達地方消防組合負担金	7,131万円
▶消防車の更新、装備拡充	261万円

## その他の特別会計

会計名	本年度額	前年度額	比較
国民健康保険	6億2,000万円	5億9,000万円	3,000万円
老人保健	4億2,606万円	4億3,692万円	△ 1,086万円
濁水対策施設	4,539万円	4,750万円	△ 211万円
貝田簡易水道	1,202万円	1,182万円	20万円
育英会計	642万円	642万円	0円
入山財産区	341万円	622万円	△ 281万円
藤田財産区	40万円	535万円	△ 495万円
大木戸財産区	52万円	50万円	2万円
公共下水道	1億 467万円	0円	1億 467万円

## 水道事業会計

科目	本年度額	前年度額	比較
収益的	収入	1億4,074万円	1億4,314万円 △ 240万円
	支出	1億1,208万円	1億1,584万円 △ 376万円
資本的	収入	0円	0円 0円
	支出	517万円	415万円 102万円

資本的収入額が資本的支出に対して不足する額  
517万円は過年度分損益勘定留保資金で補てん

▼新しい献血制度



# みんなで賄おう 日本の血液

▶4月1日スタート 新しい献血制度

「人生八十年型社会」——わたしたちは今、かつて経験したことのない長寿時代を迎えています。同時に、医療の進歩によって、一昔前ならば、体力のない高齢者は受けられなかった手術も、今では可能になりました。そのため今の献血制度ではすでに、すべての血液製剤を国民の献血だけでは賄い得ない状況になっていきます。

そこで、血液の安定確保を旨とし、四月一日から献血制度が生まれ変わることになりました。

## あなたが選択

### 三つの献血方法

昭和六十年の献血者は全国で約八百七十万人。全人口の約七・二%の献血率は、世界でもトップレベルを誇ります。しかし、一回当たりの献血量「二百ミリリットル」は、世界でも最少量のレベルです。そのため多くの善意にもかかわらず、医療用の血液は不十分なのが現状です。このため、今回の改正では、従来の「二百ミリリットル献血」に加え、新たに「四百ミリリットル献血」と血液中の特定成分だけを採血する「成分献血」が

導入されました。その結果、四月一日からはこれら三つの中からどれかを選んで献血できるようになります。

### 四百ミリリットル献血

### 安全性は実証済み

血液の安定確保と、輸血による肝炎などの感染やそのほかの副作用を減らすために生まれたのが、四百ミリリットル献血です。

例えば千二百ミリリットルの輸血は、二百ミリリットル献血では六人分の血液が必要で、ところが、四百ミリリットル献血の場合、三人分程度で済みます。少ない人数で必要量が確保できると同時に、一方で数多くの血液を混ぜ合わせる必要がなくなるので、輸血による副作用を減

らすことができるのです。つまり、量の確保と安全性が得られる採血方法なのです。

四百ミリリットル献血は、日本人と同じぐらいの体格をした東南アジア諸国の人たちのほか、世界各国でかなり前から行われており、医学的にもその安全性は十分に確認されています。

### 成分献血

### 必要な成分を採血する

成分献血とは、血液中の血漿あるいは血小板だけを採血する方法です。

なぜ、このような採血方法が必要なのかというと、血漿成分からつくる血漿分画製剤が現在の医療になくてはならないものだからです。しかし今、この製剤をつくる血漿は国内で確保して

### 血漿分画製剤

血漿分画製剤とは、血液中の血漿成分をさらに個々の成分に分離・精製したものです。この製剤は必要な成分だけを採血するものですが、日本の献血だけでは確保するためには、

今の献血制度では、数倍の献血が必要で、そのための輸入した製品や血漿を通し、エイズ(後天性免疫不全症候群)に感染するという問題が発生しました。いま、国民の必要とする血液は国民の献血による血液で確保することができません。



きないのです。そのため、その製剤や血漿の九〇%以上を外国に頼っています。医療に必要なこの製剤を国内でつくるためにも、成分献血はなくてはならない採血方法なのです。

成分採血は世界各国、そして国内の大学病院・総合病院でもすでにに行われていて、安全性は十分に確認されています。

### 健康な時に献血を

今回の四百ミリリットル献血と成分献血の導入は、医療に必要な血液製剤すべてを献血から確保する努力の第一歩なのです。健康な時に献血し、必要な時に血液製剤を使った医療を受けたい——あなた自身のべた腕が尊い生命を守ります。新しい献血制度にぜひご協力ください。

※血液製剤とは、人の血液から作られた医薬品を総称して呼びます。

# 教育長が決まる

## 教育長は4月2日から就任

### 助役に八島前総務課長



であった助役に、四月一日付で八島忠雄前総務課長が就任しました。

前任者の渡部直人さんが昨年十二月三十一日付退任以後空席

八島さんは、昭和五年生まれの五十五歳。昭和三十六年に町職員となつて以来、税務課長、総務課長などを歴任しました。この長い行政事務経験を、町長補佐の立場から町政に生かされるものと大きな期待が寄せられています。

### 収入役に武田前下水道課長



前下水道課長が、四月一日付で第四代目の収入役として就任しました。

武田さんは、昭和八年生まれの五十三歳。昭和二十三年に旧森江野村職員となつて以来、住民課長、建設課長、下水道課長などを歴任しました。この長い行政経験を、会計事務全般に生かされるものと大きな期待が寄せられています。

昨年六月三十日付で前任者の佐野正治さんが退任以後空席となつていた収入役に、武田喜男

### お世話になりました (退職されたみなさん)



大波和浩さん



高橋喜久さん



佐藤一郎さん



大沼 勉さん



赤坂正勝さん

### よろしくお願ひします (新採用のみなさん)



佐藤敦子さん



渋谷康弘君



宍戸浩寿君



松浦昭一君



村上健一君

町職員  
の  
人事異動

# 助役・収入役

助役・収入役は4月1日、

## 教育長に蓬田英夫さん



前教育長堀切光孝さんの退任以来空席となっていた町教育長

に、四月二日から蓬田英夫さんが就任しました。

蓬田さんは、大正十四年生まれの六十歳。三月までは、小野高等学校長を勤めておられました。今までの長い教職経験を、町の教育行政に生かされるものと期待されます。

よろしく願います。

## 就任のごあいさつ

蓬田英夫

この度国見町教育長を拜命し、光栄に存じますとともに、責務の重さを痛感しております。

私は、教師生活の最終の十年間を県南・会津と離れた地域で過しましたため、国見町の教育についての認識が不十分でしたが、四月二日着任し、国見町の教育行政が町民憲章を基盤に「互いに励ましあい、人間性豊かな創造性に富む人間の育成」を理念として推進されていることに接しました。また、国見町が学校・社会教育の充実を目指して、積極的に条件整備を図ってくださいました各種の施設を

みせていただき、教育に対する期待の大きいことを深く感じた次第であります。

今更申しあげるまでもなく、教育の現状には多くの課題があります。そしてすべてが重要であります。わけても町の教育理念である人間性の陶冶は、根幹をなすものであると考えます。人間性は、とどこどころを問わず、知識や思想よりも人間社会において大きな役割を果たすものでありますから、今後これを基調として、教育全般の充実のため精進する所存でございます。力不足の者ですから、今後皆様方のご指導とご鞭撻を切にお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

## 四月一日付

町職員の人事異動が四月一日付で発令されました。

今年は、赤坂正勝企画課長、大沼勉藤田保育所長など五名が退職、一方、新採用五名が決まりました。

なお、生活環境係は、住民課から総務課へ配置替えとなりました。

## 退職

(一)内は旧任

▽赤坂正勝(企画課長)

▽大沼勉(藤田保育所長)

▽佐藤一郎(建設課)

▽高橋喜久(保健課)

▽大波和浩(住民課)

新採用 (一)内は新任

▽村上健一(産業課産業係)

▽松浦昭一(保健課保健衛生係)

▽六戸浩寿(住民課戸籍住民係)

▽渋谷康弘(産業課産業係)

▽佐藤孝子(総務課庶務係)

異動および昇格 (一)内は旧任

▽総務課長(産業課長) 吉田貞造

▽税務課長(公民館長) 渡辺等

▽建設課長(税務課長) 鈴木捷治

▽企画課長(建設課管理係) 原田金蔵

▽産業課長(産業課係) 佐野貞治

▽藤田保育所長(水道課水道係) 山田久

▽公民館長(住民課生活環境係) 井砂研二

▽下水道課長(総務課庶務係) 須田善治

係長(同財政係) 佐竹弘治

▽総務課財政係長(産業課農地係) 吉田孝夫

▽保健課保健衛生係長(住民課年金係) 佐藤光一

▽総務課生活環境係長(同文書係) 小池芳男

▽住民課年金係長(保健課保健衛生係) 佐藤幸子

▽産業課産業係長(同産業係) 安藤信男

▽産業課農地係長(同産業係) 渋谷和洋

▽水道課水道係長(産業課産業係) 阿部正

▽建設課管理係長(同建設係) 八島英雄

▽総務課文書係長(産業課産業係) 吾妻正子

▽水道課施設係長(同水道係) 佐藤軒二

▽産業課産業係(会計室出納係) 武田友江

▽住民課戸籍住民係(公民館事業係) 武田慶子

▽公民館事業係(住民課戸籍住民係) 八巻美枝子

▽公民館事業係(税務課固定資産係) 武田智

▽議会事務局(水道課水道係) 谷津美代子

▽税務課固定資産係(住民課福祉係) 中野孝雄

▽総務課生活環境係(住民課生活環境係) 佐藤弘利

▽産業課産業係(公民館事業係) 佐藤政弘

▽会計室出納係(総務課財政係) 菊地富子

▽総務課財政係(議会事務局) 後藤浩子

▽住民課福祉係(総務課庶務係) 遠藤八重子

▽総務課文書係(同庶務係) 古川正

# 新団長に林元治さん 副団長には大波治男さん

町消防団



新団長の林元治さん



新副団長の大波治男さん



退団された  
樋口彌太郎さん

四月一日午後二時から、役場会議室で、消防団の辞令交付式が挙行されました。  
今回は、大規模な異動となりましたが、特に、五十余年の団員歴、十七年の団長歴を有する樋口彌太郎団長（藤田字南）が勇退されました。  
後任の団長には、長年樋口団長の補佐を勤めてきた林元治さん（鳥取字塚下）が、また副団長には、教養分団長の大波治男さんが就任いたしました。

菊地町長から、樋口団長に退任辞令が、また後任の林団長に新任辞令が交付されました。続いて、永年の功労に対し、樋口さんに町から感謝状と記念品が贈られました。  
また、第二分団長の渡辺富男さん（藤田字北）も、後進に道を譲り退団しました。  
樋口さん、渡辺さん、長い間ほんとうにありがとうございました。

なお、新幹部のみなさんは次のとおりです。（敬称略）  
団長 林 元治  
副団長 大波治男  
教養分団長 岡崎長平  
" 副分団長 林 初男  
第一分団長 仲野周一郎  
" 副分団長 武田 衛

第二分団長 佐藤忠美  
" 副分団長 菊地昭平  
第三分団長 武田 孟  
" 副分団長 村上公月  
第四分団長 後藤昌伸  
" 副分団長 齋藤榮司  
第五分団長 阿部恒夫  
" 副分団長 佐藤正己

## 県から社会教育主事



福島社会教育主事

教育委員会では、生涯教育の充実とスポーツ活動の振興を計るため、四月一日付で県からの社会教育主事の派遣を得ました。派遣されたのは、福島力さん（福島市 四十八歳）で、三月までは福島市立茂庭中の教頭を務められていました。  
趣味は、オリエンテーリングやキャンプなどの野外活動、スポーツは陸上やバスケットボールと幅広く、話題も豊富です。向う三年間、よろしくお願いします。

## 身近にある野草薬草

(22)

### クマザサ



笹や竹はアジアの特産といつてよく、特に笹は日本の代表的な植物です。広大な笹原や林の下草としての笹が多いにはびこっていますが、ヨーロッパやアメリカには全くありません。中部以北の山には、ネマガリタケ（チシマザサ）の大群落があります。春五、六月になると、竹の子掘りに大勢の人がくり出しますが、ゆでて瓶詰や缶詰などにしますが、モウソウタケの竹の子とは違ったおいしい竹の子です。  
お膳には葉の緑の枯れた笹が使われます。笹の葉に毒消しの作用があるからです。ちまきや笹船など、笹の葉で食べ物を含むことは広く行われています。クマザサは、葉の緑が冬になると枯れて、隈どりしたような姿になるから「隈笹」と呼ばれます。  
▼薬用部分・効き目▲  
糖尿病、高血圧に乾燥した葉を煎じて飲みます。胃のもたれには葉の青汁を飲みます。  
▼葉の採取時期▼  
一年中葉があるので、いつでも採取できます。  
▼見つけ方▲  
日当りのよい丘陵に大きな群落をつくって自生します。また、庭に栽培されていることも多くあります。秋から冬にかけて、葉の周縁部が枯れて白くなり、高き三十〜六十センチほどで常緑の多年草です。  
▼処理の仕方▲  
葉だけを集めて、日干しにします。青汁には葉の柔かい部分を採取して、ミキサーなどにかけます。  
(身近な薬草から)

# ふるさとの文化財

25

## 史跡 徳江廃寺跡

菊池利雄

回っているような文様をもつ旋回花文軒丸瓦と、これに伴って出土する格子目文平瓦の二種類に分けられる。

前者に属する古瓦は、福島市の湯野にある西原廃寺跡からも出土しており、町内でも高城の山居遺跡と石母田の正玄堂遺跡から出土している。後者の古瓦は、地元の場所と呼ばれる渡辺次夫氏の宅地内で発見されたもので、福島市の腰浜廃寺跡から出土した瓦と同じ形式のものである。

天長七年(八三一)、山階寺

(奈良の)僧知興に

定額寺に準じ、

信夫郡の菩提寺に

比定される腰浜あ

るいは西原廃寺と

同じ形式の瓦が出

土する徳江廃寺は、

この両寺と深い関

係にあった寺院と

みられ、創建の時

期は明らかでない

が、かつて観音堂

の裏からは見され

た平瓦には、「嘉

の字の陰刻があつ

て嘉祥(八四八)と読

む説もあり、九世

紀の中ば腰浜廃寺

が盛時の平安時代中期初頭から、火災にかかり焼失した平安時代の末期頃まで存在した形跡がある。

廃寺の中心部は沼田(明治の初めに新たに地名)された地内で、「徳江村検地帳」

には、徳定房・塔ノ場・郡ノ内

など廃寺関連の地名がみられ、

今後の詳しい調査が期待される。

参考文献

「国見町史」一・二・四巻

「福島市史」一・六巻

国見町の文化財第五集 徳江廢

寺発掘調査



# 教職員の人事異動

四月一日付( )内は旧任

### 退職

- ▽穴戸成男(藤田小校長)
- ▽横山市郎(東北中)

### 転出

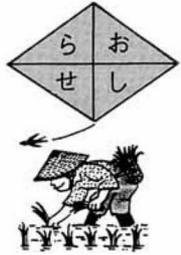
- ▽福島市立大島中教頭(大木戸小教頭) 松本正詞
- ▽伊達町立伊達小(小坂小) 飯塚佳淑
- ▽梁川町立白根小(小坂小) 穴戸富美子
- ▽船引町立移小(藤田小) 仲村匡
- ▽福島市立立山小(藤田小) 二瓶洋允
- ▽福島市立瀬上小(藤田小) 安斎淑子
- ▽大越町立牧野小(藤田小) 大宮千賀子
- ▽梁川町立五十沢小(森江野小) 池田カツ子
- ▽富岡町立富岡二中(東北中) 菅野富也
- ▽梁川町立梁川中(東北中) 湖東泰玄
- ▽霊山中(東北中) 菅野偉男
- ▽大木戸小教頭(小坂小教頭) 戸清司
- ▽小坂小教頭(福島市立福島二小) 泉清
- ▽小坂小(須賀川市立須賀川一小) 遠藤真理子
- ▽藤田小(新地町立福田小) 佐藤喜夫
- ▽藤田小(桑折町立半田酸芳小) 市川多門
- ▽伊達町立伊達小(遠藤トモ)
- ▽藤田小(霊山町立掛田小) 角田榮子
- ▽森江野小(新地町立駒ヶ嶺小) 狩野陽子
- ▽東北中(新採用) 小林一彦
- ▽東北中(新採用) 中田幸司
- ▽東北中(伊達町立伊達中) 大橋雄二
- ▽教育委員会派遣社教主事(福島市立茂庭中教頭) 福島力

阿武隈川の氾濫原をみおろす川岸段丘上に位置する、徳江の團扇・館・沼田の広大な地域は徳江廃寺の遺構地とされ、現在の観音堂付近と旧観音堂跡の伝えのある、沼田六三番地の周辺地からは古瓦が出土する。(部衛遺す説もあるが、本稿は横地と廃寺跡説をとった)

明治の初めに刊行された『伊達郡徳江村誌』に、「古昔観音堂ヲ葺キシ瓦ナリトテ、今路傍或ハ圃中ヨリ住々敗瓦ヲ出ス」と誌され、古瓦の写生図ものせられている。

この遺構より出土する古瓦には、六弁と八弁の文様をもつた二形式の素弁連華文軒丸瓦と、これと組になる素文頸部円形押

庄文軒平瓦。花卉がぐるぐると



国見町 防霜対策本部 を設置

町では、果樹などの農作物を 運霜から守るため、町の関係農 業団体で町防霜対策本部（本部 長、菊地政治町長）を四月九日 に設置しました。

霜が降りる恐れがある場合は、 本部から広報車、有線放送で広 報いたしますが、深夜にわたる 場合が多く、ご迷惑かと思いま す、ご協力くださるようお願い いたします。

なお、降霜の時は重油などを 燃焼するため、黒煙が町全体に 広がる恐れがありますので、翌 朝は洗たく物などに十分注意し てください。

運霜の被害を最少限にするた め、町民皆さんのご協力をお願 いいたします。 ※期間は、四月九日から五月三 十一日までです。

防霜対策本部 班編成

Table with 4 columns: Class, Surname, Name, Telephone Number. It lists members for classes 1, 2, and 3.

「電話お願ひ手帳」に ご協力を!!



NTT福島電話局では、三月 三日に市町村を通じて「電話お 願ひ手帳」を贈りました。 「電話お願ひ手帳」は、耳や 言葉の不自由な方が、外出先な どで電話連絡をとりたいた時に、 近くにいる方にこの手帳で「お せ入ります、私の代わりに

「若人の翼」 団員を募集



電話してください」とお願ひす る時に使用するものです。 皆さんが、もし街角でオレ ンジ色の「電話お願ひ手帳」で電 話をお願いされましたら、心よ く温かいご協力をお願いいたし ます。

- 一、募集人員 一般団員 七十三名 班長 十二名

二、応募資格 県内に居住している青年で、 次の要件のすべてを満たす 者であること。 (一)生年月日 昭和二十五年四月二日か ら昭和三十一年四月一日 までに生まれた者

- 一般団員 昭和三十一年四月二日か ら昭和四十一年四月一日 までに生まれた者 (二)社会参加活動 班長 青少年活動にかかる優れた 青年指導者で、海外研

修後も活発な青少年活動 が期待できるもの。 一般団員 青少年団体、グループな どに加入し、現に活動し ている優れた青年または、 青少年活動に関心を有す る優れた青年で、海外研 修後に活発な青少年活動 を行うことが期待できる もの。

三、派遣種類 欧州二コース、南米、中国、 韓国・マレーシア

- 四、応募方法 「若人の翼」申込書などの 書類をそろえ、五月十五日 までに町教育委員会に提出 してください。 ※なお、くわしくは町教育委員 会（☎八五二二二二）へお たずねください。

身体障害者 補装具相談会の お知らせ



身体障害者の補装具相談会が、 左記の日程で開催されますので、

補装具などで困っていることが ありましたらご利用ください。

- 一、日時 五月六日（火）午前九時三十 分から正午まで 二、場所 公民館（老人子ども室） 三、持参するもの 身障手帳（戦傷手帳）・保 険証・印鑑

委託状況届の提出を 忘れずに!!



製造・加工業者などで、製品 の加工を家内労働者（内職者） に発注している業業主（委託者） といましては、毎年四月一日 現在に家内労働者数に提出し なければならないことになっ ています。 今年も届出の時期になりました。 必ず、ご提出くださるよう お願いいたします。 福島労働基準局





国見町公民館  
☎85-2676  
(有) 4156

町職員の人事異動が四月一日付で発令されました。今回の異動で、長年公民館長として活躍された渡辺等さんが、税務課長に異動となりました。後任として、井砂研二新館長が就任いたしました。みなさん、よろしくお願いいたします。

### 新任のごあいさつ

公民館長 井砂研二



何とぞ前任者同様、格別のお力添えを賜りますようお願いいたします。簡単ではありますが就任のごあいさついたします。

### 公民館職員 の人事異動

( )内は旧任

お世話になりました。

四月一日付をもちまして、公民館長に任命されました。

もとより、浅学非才ではありましたが、皆様方のご指導とご鞭撻をいただき、公民館活動の伸展と「健康で心豊かな住みよい町」づくりのため、全力を傾注して職責を全うする所存です。

税務課長 渡辺 等(館長)  
住民課 武田 慶子(主査)  
産業課 佐藤 政弘(主事)

よろしく願います。

事業係  
主査 八巻美枝子(住民課)  
主査 武田 智(税務課)

## 進めよう、明日を拓く、 新生活運動

心豊かな、生き生きとした地域社会づくり運動

### 運動推進目標

- 活力ある地域社会を創造する運動
- 高齢者の社会参加を進める運動
- 資源とエネルギーを大切にする運動
- 青少年の健全な発達を促進する運動
- ハンブルライフ運動

(物質的には質素で、精神的には謙虚で豊かな生活)

※心のかよいあう冠婚葬祭への見直し運動

～みんなで さわやかなあいさつを 交わしましょう～

## 地域住民の 自治・連帯・協働

### 加入済みですか スポーツ傷害保険

これからスポーツのシーズンです。六十年年度スポーツ傷害保険の有効期間が三月三十一日までとなっておりますので更新(新規)加入の手続をお願いします。

○十人以上(原則)のグループで一人当り年額三五〇〇～一〇四〇〇円(活動内容による)です。

○傷害保険金は次のとおり

- ① 通院 日額一〇〇〇円
- ② 入院 〃 三七〇〇円

③ 死亡 一二〇〇万円  
その他くわしいことは公民館へおたずねください。

### 青年学級生から 修了記念品の寄贈

昭和六十年年度青年学級修了生(代表大波洋さん)から、一年間お世話になった感謝の気持ちとして、公民館へ図書券(二万円五百円相当)及び置き時計(一万二千円相当)の寄贈がありました。

ありがとうございました。

### 趣味の合同習作展の お知らせ

第十回合同習作展を、恒例の国見町商工会農業祭に併せて左記により開催します。

日時 五月四日(五) 二日 日間  
午前九時～午後四時  
会場 国見町町民体育館  
参加団体 日本画、書道、カラオケ、貼り絵、俳句、短歌

主催 国見町趣味の合同習作展実行委員会  
後援 国見町商工会  
国見町教育委員会  
国見町公民館  
国見町文連協議会

### 柔道スポーツ少年団 団員募集

対象 小学生及び中学生、男女は問いません。  
会費 年間三千円(運営費、傷害保険料含む)  
練習日 毎週火、木曜日  
時間 火曜 午後六時～八時  
木曜 〃 五時～七時

場所 国見町民体育館  
活動内容 身体活動、野外交渉、いっしょ会など  
連絡先 舟山武雄(会費) 三三  
本田林一郎(会費) 三五

# 昭和六十一年度

## 学級生を募集

公民館では昭和六十一年度、次の学級生を募集しております。町民一人一人が社会のなかでそれぞれの役割を果たしながら、各年代に応じ学習テーマを見つける。

そこから「学びの出発」が始まります。人間性の豊かさを求めて自発的に今から始めましょう。

### 乳幼児学級

乳幼児時期の教育がその人の一生を左右すると言われていきます。こどものすこやかな成長と人間形成を目ざして……

定員 三〇名

期 間 五月〜十二月

学 習 日 月一回水曜日

時 間 13:30〜15:30

対 象 〇〜三歳児をお育ての  
お母さん、おばあさん  
など

学 習 内 容 乳幼児の心と身体  
の発達、しつけ、両親、  
祖父の役割、健康管理  
など

学 習 方 法 講義、親子で学習、  
ゲーム、話し合い、遠  
足など

期 間 中 託 児 所 を 開 設 いた し ま  
す の で お 子 さん づ づ れ で 参 加 を。



▲親子で仲良く学習

### 青年学級

定員 四〇名

期 間 四月〜三月

学 習 日 毎週木曜日

時 間 19:30〜21:30

対 象 町内に住または勤務の  
二十四歳までの青年男  
女(学生も可)

活 動 内 容 講義、話し合い、  
スポーツ、レクリエー  
ション、野外活動(キ  
ャンプ、オリエンテー  
リングなど)、フリータ  
イムなど



▲模範結婚式風景

### 阿津賀志学級

昨年度まで高齢者教室で開講しておりましたが、阿津賀志学級に変更になりました。高齢化社会に適應出来る柔軟な心と豊かで健康な人間形成をめざして……

期 間 四月〜三月

学 習 回 数 十六回

時 間 主に9:30〜11:30

対 象 町内に在住する60歳以  
上の男女



▲学習風景のひとつ

### 中央婦人学級



▲学習風景のひとつ

婦人の役割を考え、婦人教養の向上と明るく豊かな家庭づくりをめざして……  
定員 四〇名  
期 間 五月〜二月

### 成人学級

学 習 日 二〇回 水曜日  
時 間 9:30〜11:30  
対 象 町内に在住する婦人

社会に柔軟に対応できる知識や教養を習得し、明るく豊かな町づくりへ貢献しよう。

定員 四〇名

期 間 五月〜二月

学 習 日 十三回 水曜日

時 間 13:30〜15:30

対 象 町内居住の壮年男女  
学 習 内 容 一般教養、健康管  
理、研修旅行など



▲料理のうでもなかなか(昨年の学習から)

◇切及び申し込み先  
各戸配布のチラシをご覧の上  
申込書により公民館へ申し込  
んで下さい。(電話申込みも可)



### 中央集会所 兼季節保育所が完成

小坂地区の住民待望の小坂中央集会所兼小坂季節保育所が完成し、三月三十日午前十時から落成式が行われました。



▲りっぱに完成した中央集会所兼季節保育所

完成した施設は、木造モルタル平屋建ての二百二十平方メートルの集会所としてはもちろん四月から十月までの季節保育所開設時期には、保育所、遊戯室として使える部屋などもあります。

式には、地区関係者など約四十人が出席。小坂部落会長がこの施設の管理委員長を務める佐藤元一さんがあいさつ、菊地町長の祝辞などがあり、全員で乾杯し、完成を祝いあいました。

### 仲野周一郎さん 武田 孟さん

#### に消防庁長官表彰

この度、第一分団長の仲野周一郎さん（東田字川北と、第三分団長の武田孟さん（森山字上鴨町）に、栄えある消防庁長官表彰、永年勤続功労賞が贈られました。

三月十五日、初午行事に先立ち、町長室で、幹部団員列席のもと伝達式が行われました。

仲野さん、武田さんとも、昭和二十二年十月一日の入団で、以来三十八年余にわたる、めまぐるしく変遷する社会状況の中において、部・分団の幹部として、積極的に消防活動の推進に取り組んできました。

今回の受賞を契機として、よ

りいっそう、町消防団発展のため頑張ってほしいものです。



▲菊地町長から仲野さんに



▲菊地町長から武田さんに

### 下水道事務所が開設

#### 開 設

阿武隈川流域の福島市と伊達郡五町の下水道を整備する、県北流域下水道工事事務所の開所式が、四月四日午前十一時から

行われました。

阿武隈川流域下水道は、昭和五十八年十二月に事業認可を受けた県主幹の事業で、五十九年末までに地権者との用地買収契約も合意に達し、今年度から工事が始まります。

県北浄化センター（仮称）を、徳江字下川原の阿武隈川河畔に建設し、福島市、国見町、桑折町、伊達町、保原町、梁川町の下水道を整備するもので、処理計画面積は一万二百五十六ヘクタール、処理計画人口は三十六万九千五百人。

六十八年度までに、約一千億円をかけて福島市と浄化センターを結ぶ幹線工事が行われる予定です。今年度は、約二億三千万円の予算で管渠（かんきょ）

工事を中心に進められます。

事務所開所式には、県側から新妻威男土木部次長ら、町側から菊地町長など合わせて二十人が出席、新妻次長と小山田房夫土木部下水道課長が事務所に看板を掲げ、全員で乾杯して工事の早期完成を祈りました。

事務所には、菅野重雄室長はじめ職員六人が駐在します。

### 編集日記

○先日、取材の道すがら、うぐいすの鳴く声を聞きました。寒い冬を過ごした鳥たちも、春になり活動の時期となりました。

○ところで、五月十日から一週間ほどは「愛鳥週間」です。鳥類が地球に現れてから現在までを一時間とすると、人類が現れて現在までは、たった一秒にしかならないそうです。この偉大な鳥類も、環境が変わり、その数も種類も減ってきています。今後鳥類を保護するのも、自然環境を変化させた私たち人間の努めではないでしょうか。

愛鳥週間を機会に、鳥たちを観察し、仲よくみてはいかがでしょうか。鳥が鳴く、そんな光景は私たちに安らぎを与えてくれます。健康のため、森林浴をかねながらパードウォッチングに出かけてみてはいかがでしょうか。



▲開設された県北流域下水道工事事務所